

2021年1月19日

高崎経済大学

学長 村山 元展

2021年度の授業実施方法について

高崎経済大学では、4月14日(水)から開始する2021年度前期授業について、学生の皆さんがキャンパスで学ぶ機会や学生同士のコミュニケーションの場を提供することも重要であると考え、原則対面で実施します。当然のことですが、対面授業の実施にあたっては、新型コロナウイルスへの感染リスクに配慮し、下記のとおり、十分な感染防止策を講じることとします。

学生の皆さんは、ポータルサイト及び「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(改訂版を3月頃公開予定)を必ず確認のうえ、来年度に向けた準備を進めてください。

なお、この実施方法は、今後の情勢を踏まえ変更される場合があります。その場合は、大学ホームページ等で最新の情報をお知らせしますので、そちらもご確認ください。

記

- (1) 教室定員を減らし(各教室の定員を試験定員までとする)、十分な身体的距離を確保します。
- (2) 各授業で利用する教室は、3密を防止するために、なるべく広い教室を割り当てられるよう履修者確定後に調整します。
- (3) 各教室の換気を徹底し、ドアと窓を常時2方向開けた状態を原則とします。ドアの常時開放が授業運営に支障をきたす場合は、30分に1回は10分程度開放し、換気を行います。
- (4) 各建物及び各教室の出入り口付近に消毒液を配備します。
- (5) 紙類を媒介した感染拡大を防ぐため、講義資料等はなるべく電子データによる配布・共有・提出を行います。
- (6) キャンパス内では、マスクの着用を徹底します。ただし、天候により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や他者との身体的距離を十分に配慮したうえで、一時的にマスクを外すことを認めることとします。
- (7) 全学生にフェイスシールドを配布し、語学等の学生が声を発する機会の多い授業においては、担当教員の指示に基づき、マスクに加えてフェイスシールドの着用を推奨します。
- (8) 履修者が教室の定員を超過した科目は、対面授業を近くの別教室にも配信し、一部の学生は別教室で受講します。
- (9) 毎朝の体温測定と記録の習慣化、マスクの着用や咳エチケット、手洗いなど感染防止に有効とされている行動をとり、密閉・密集・密接の「3つの密」を避けるように、すべての授業において引き続き注意喚起を行います。